

第16回

日本婦人科がん会議

The 16th Japan Gynecologic Cancer Conference

婦人科がんと臨床試験 — 東京からの発信 —

プログラム・抄録集

会期 2019年 8月30日金・31日土

会場 ヒルトン東京お台場
〒135-8625 東京都港区台場1-9-1

当番世話人 竹島 信宏
がん研有明病院婦人科 部長、JGOG副理事長

第16回日本婦人科がん会議

ご 挨拶

第16回日本婦人科がん会議

当番世話人 **竹島 信宏**

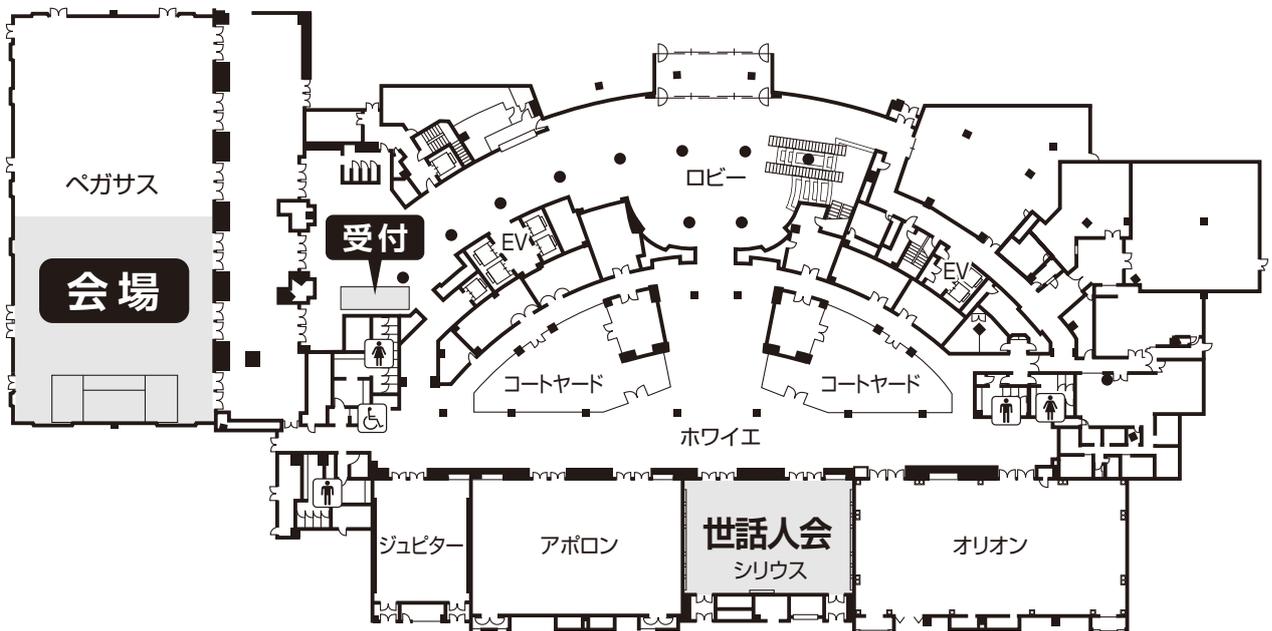
がん研有明病院婦人科 部長
JGOG 副理事長

このたび、2019年8月30日(金)、8月31日(土)の両日におきまして、ヒルトン東京お台場にて第16回日本婦人科がん会議を開催させていただきます。日本婦人科がん会議は、岩手医科大学産婦人科主任教授 杉山徹先生を代表世話人とし、発足当初は卵巣がんの臨床試験を中心に研究を行ってきました。その後発展し、今日では婦人科がん全体を対象とするようになっております。婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG)を基盤として、婦人科悪性腫瘍の分野で、臨床試験を主に地方の立場から考えるという方向性で行われてきました。ただ、第16回におきましては、「婦人科がんと臨床試験 ―東京からの発信―」をテーマにさせて頂き、都心での開催を企画させて頂きました。

プログラムに関しましては、実りあるものにしていきたいと考えております。本研究会は、婦人科がんにおける臨床試験の最新情報や、それらに関連した諸問題について講演・議論する場となっています。またそれ以外にも、様々な臨床指針に関する問題点を検討したいと思います。是非、お台場にご参集ください。

会場案内図

1F



参加者の皆様へ

I. 受付・参加費

受付は当日登録のみです。参加費と引き換えに領収書兼用の参加章(名札)をお渡しいたします。参加章に所属・氏名をご記入の上、会場では必ずご着用ください。

1. 受付時間

8月30日(金) 8:30~18:00

8月31日(土) 8:30~15:00

2. 受付場所

ホテルヒルトン東京お台場 1F ペガサス前

3. 参加費

15,000円(現金受付のみ、クレジットカードはご利用いただけません)

II. プログラム抄録集

当日、受付にて1部お渡しいたします。

III. 各種研修証明について

〈研修単位〉

- 日本産科婦人科学会専門医研修出席証明

「e医学会カード(日本産科婦人科学会発行)」を利用いたします。会員の皆様はe医学会カードをご持参ください。

IV. 日本専門医機構 単位付与講習

本学会では、日本専門医機構専門医単位発行の講演は、下記セッションとなっております。

- 「e医学会カード(日本産科婦人科学会発行)」で単位受付を行います。
- ご出席の先生はご自身の責任でe医学会カードで単位受付を行ってください。講習会場でe医学会カードのバーコードを読み取ることで登録を行えます。

日本専門医機構 単位付与講習一覧

8月30日(金)		
12:30~13:30	特別講演1 Paradigm Shift in Ovarian Cancer Treatment	産婦人科領域講習
13:30~14:30	特別講演2 The role of PARP inhibitors in ovarian cancer treatment strategy	産婦人科領域講習
8月31日(土)		
9:00~10:00	スポンサードセミナー2 難治性がんの治療戦略	産婦人科領域講習
10:10~11:10	スポンサードセミナー3 婦人科がん・ゲノム医療におけるベパシズマブの役割	産婦人科領域講習

V. 関連会議・行事

1. 世話人会

日 時：8月31日(土) 8:00～9:00

会 場：ホテルヒルトン東京お台場 1F シリウス

2. 情報交換会

日 時：8月30日(金) 18:30～

会 場：ホテルヒルトン東京お台場 1F ペガサスC

参加費は無料です。皆様是非ご参加ください。

VI. その他

全ての会場内において、撮影・録音は、学会側が認めた場合以外、禁止となります。ご協力いただきますようお願いいたします。

座長・演者の皆様へ

座長の皆様へ

担当セッションの開始10分前に、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。

担当セッションの進行は、時間内に終了するよう、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

演者の皆様へ

I. 発表方法

(1) 発表形式はPC発表です。

スライドやビデオは使用できませんので、ご注意ください。

(2) 会場へは、1. USBメモリ、2. パソコン本体、以上1～2のうち、いずれかの形で発表データをお持ち込みください。

(3) 講演開始30分前迄にPC受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。

PC持ち込みの方も、30分前迄にPC受付へお越しください。

(4) PowerPointの「発表者ツール」機能は使用できません。

(5) PC受付のパソコンは台数が限られております。

受付パソコンを独占しての長時間のデータ修正はご遠慮願います。

学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてから学会場へお越しください。

★ご発表10分前には、会場内前方の「次演者席」に着席し、待機してください。

II. 発表データをお持ち込みの方へ

■ USBメモリをお持ち込みの方への注意事項

(1) ソフトは、以下のものをご使用ください。

Windows版 PowerPoint 2010/2013/2016

※ Macintoshをご使用の方は、PCをお持ち込みください。

※ 動画ファイルをご使用の方は、PCをお持ち込みください。

(2) フォントはOS標準のもののみご使用ください。

(3) 画面の解像度は、XGA(1024×768)をお願いいたします。

■ ノートPCをお持ち込みの方への注意事項

(1) バックアップとして、必ずメディアもご持参ください。

(2) 画面の解像度は、XGA(1024×768)をお願いいたします。

(3) PC受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。

※ PCの機種やOSによって、出力設定方法が異なります。

(4) プロジェクターとの接続ケーブル端子は、ミニD-sub15ピンです。

PCによっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずご持参ください。

※ 特にVAIO、MacBook等小型PCは、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

(5) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。

(6) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。

※ 内蔵バッテリー駆動ですと、ご発表中に映像が切れる恐れがあります。

8月30日金

ヒルトン東京お台場 1F ペガサスA

8:30	
8:45~9:15	モーニングセミナー 1 Todai OncoPanelを用いた婦人科癌におけるがんゲノム医療 座長：榎本 隆之 演者：谷川 道洋
9:00	
9:15~10:15	モーニングセミナー 2 がん・生殖医療のこれから 座長：吉田 好雄、青木 陽一 演者：鈴木 直、市村 崇
10:00	
10:15~11:15	モーニングセミナー 3 臨床試験・臨床研究におけるCRCの役割 座長：杉山 徹 演者：宮田 まゆみ、木村 雪絵、鈴木 里実 共催：株式会社 EP 総合
11:00	
11:15~	開会の挨拶 当番世話人：竹島 信宏
11:20~12:20	ランチョンセミナー 1 これからさらに加速する！婦人科がんにおける バイオマーカーに基づく治療 座長：片渕 秀隆 演者：齋藤 豪 共催：MSD 株式会社
12:00	
12:30~13:30	特別講演 1 ☆★ Paradigm Shift in Ovarian Cancer Treatment 座長：小林 裕明 演者：Jacobus Pfisterer 共催：中外製薬株式会社
13:00	
13:30~14:30	特別講演 2 ☆★ The role of PARP inhibitors in ovarian cancer treatment strategy 座長：牛嶋 公生 演者：Charlie Gourley 共催：アストラゼネカ株式会社 /MSD 株式会社
14:00	
14:30~16:00	シンポジウム ☆ 座長：岡本 愛光 渡利 英道 演者：Jacobus Pfisterer Charlie Gourley Noriomi Matsumura
15:00	
16:10~17:10	スポンサードセミナー 1 再発卵巣癌 ～臨床試験によるエビデンスの構築～ 座長：宮本 新吾 演者：田畑 務 共催：日本化薬株式会社
17:00	
17:20~18:20	特別講演 3 ☆ APAGE session 座長：太田 剛志 演者：Xipeng Wang Chyi-Long Lee
18:00	
18:30~20:30	情報交換会 会場：ヒルトン東京お台場 ペガサスC

8月31日土

ヒルトン東京お台場 1F ペガサスA

9:00~10:00	スポンサードセミナー 2 ★ 難治性がんの治療戦略 座長：平嶋 泰之 演者：的田 眞紀、近藤 英司 共催：テルモ株式会社
10:10~11:10	スポンサードセミナー 3 ★ 婦人科がん・ゲノム医療におけるペバシズマブの役割 座長：伊藤 公彦 演者：松元 隆 共催：中外製薬株式会社
11:20~12:20	ランチョンセミナー 2 子宮肉腫の診断と治療 座長：紀川 純三 演者：徳永 英樹 共催：大鵬薬品工業株式会社
12:40~13:40	スポンサードセミナー 4 Minimally invasive surgery を再考する 第1部 座長：梅澤 聡、寺内 文敏 演者：田中 尚武、林 茂徳 共催：テレフレックスメディカルジャパン株式会社
13:50~14:50	特別講演 4 Minimally invasive surgery を再考する 第2部 座長：上浦 祥司 演者：Kim Dae Yeon、Yoichi Aoki 共催：科研製薬株式会社
14:55~	閉会の挨拶 当番世話人：竹島 信宏
15:00~17:00	ポストコンgresセミナー がん研アカデミー EXTRA マルチアングルから見た骨盤手術解剖 座長：竹島 信宏 演者：小西 毅 駒井 好信 金尾 祐之 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

主要プログラム

2019年8月30日(金)

会場：ヒルトン東京お台場 ペガサス A

8:45～9:15 **モーニングセミナー1**

座長：榎本 隆之(新潟大学)

MS1 Todai OncoPanel を用いた婦人科癌におけるがんゲノム医療

谷川 道洋 東京大学医学部附属病院 女性外科

9:15～10:15 **モーニングセミナー2**

座長：吉田 好雄(福井大学)

青木 陽一(琉球大学)

[がん・生殖医療のこれから]

MS2-1 本邦におけるがん・生殖医療の現状と課題

一婦人科腫瘍医として、また産婦人科医としての役割

鈴木 直(聖マリアンナ医科大学)

MS2-2 がん研有明病院 妊孕性温存支援室(トータルケアセンター 患者家族支援部)の 誕生秘話 ～ GCLS 研究会から妊孕性温存支援室へ～

市村 崇(厚生労働省/がん研究会有明病院)

10:15～11:15 **モーニングセミナー3**

共催：株式会社 EP 総合

座長：杉山 徹(高邦会高木病院/国際医療福祉大学)

[臨床試験・臨床研究における CRC の役割]

MS3-1 CRC によるサイトマネジメント

宮田 まゆみ(公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター
メディカルイノベーションディビジョン 医療開発研究グループ)

MS3-2 医師主導治験・臨床研究における CRC の実務

木村 雪絵(国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 研究実施管理部
臨床研究コーディネーター室 主任 CRC)

MS3-3 臨床試験・臨床研究における SMO-CRC の活用

鈴木 里実(株式会社 EP 総合 千葉支店 千葉県がんセンター 治験コーディネーター)

11:15～

開会の挨拶

当番世話人：竹島 信宏(がん研究会有明病院)

11:20～12:20 **ランチオンセミナー1**

共催：MSD 株式会社

座長：片渕 秀隆（熊本大学）

LS-1 これからさらに加速する！
婦人科がんにおけるバイオマーカーに基づく治療

齋藤 豪 札幌医科大学 産婦人科学講座

12:30～13:30 **特別講演1** ☆★

共催：中外製薬株式会社

座長：小林 裕明（鹿児島大学）

SL-1 Paradigm Shift in Ovarian Cancer Treatment

Jacobus Pfisterer Gynecologic Oncology Center, Kiel

13:30～14:30 **特別講演2** ☆★

共催：アストラゼネカ株式会社 / MSD 株式会社

座長：牛嶋 公生（久留米大学）

SL-2 The role of PARP inhibitors in ovarian cancer treatment strategy

Charlie Gourley Cancer Research UK Edinburgh Centre

14:30～16:00 **シンポジウム** ☆

座長：岡本 愛光（東京慈恵会医科大学）

渡利 英道（北海道大学）

S-1 Current & Future Clinical Trials on ovarian cancer

Jacobus Pfisterer (Gynecologic Oncology Center, Kiel)

S-2 Ovarian cancer: in the future we must divide to conquer

Charlie Gourley (Cancer Research UK Edinburgh Centre)

S-3 Perspective of individualized molecularly targeted therapy of ovarian cancer based on genomic profile

Noriomi Matsumura (Department of Obstetrics and Gynecology, Kindai University)

16:10～17:10 **スポンサードセミナー1**

共催：日本化薬株式会社

座長：宮本 新吾(福岡大学)

SS1 再発卵巣癌 ～臨床試験によるエビデンスの構築～

田畑 務 東京女子医科大学 産婦人科

17:20～18:20 **特別講演3** ☆

座長：太田 剛志(順天堂大学)

[APAGE session]

**SL3-1 Endometriosis associated ovarian cancer:
pathogenesis, prediction and management**

Xipeng Wang (Shanghai Jiaotong University)

SL3-2 What Is the Same Mistake From LAP2 to LACC trial

Chyi-Long Lee (Chairman, Board of Trustee of APAGE / Chung Gung memorial Hospital)

会場：ヒルトン東京お台場 ペガサスC

18:30～20:30 **情報交換会**

2019年8月31日(土)

会場：ヒルトン東京お台場 シリウス

7:00～8:00 AtTEnd 会議

8:00～9:00 世話人会

会場：ヒルトン東京お台場 ペガサス A

9:00～10:00 スポンサーセミナー2 ★

共催：テルモ株式会社

座長：平嶋 泰之(静岡がんセンター)

[難治性がんの治療戦略]

SS2-1 がん研有明病院で行っている広汎子宮全摘術

的田 真紀(公益財団法人 がん研究会 有明病院 婦人科)

SS2-2 広汎子宮全摘術に対する MIS(鏡視下手術)について

近藤 英司(三重大学 産婦人科)

10:10～11:10 スポンサーセミナー3 ★

共催：中外製薬株式会社

座長：伊藤 公彦(関西ろうさい病院)

SS3 婦人科がん・ゲノム医療におけるベバシズマブの役割

松元 隆 愛媛大学医学部 産婦人科

11:20～12:20 ランチョンセミナー2

共催：大鵬薬品工業株式会社

座長：紀川 純三(松江市立病院)

LS2 子宮肉腫の診断と治療

徳永 英樹 東北大学病院 婦人科

12:40～13:40 **スポンサードセミナー4**

共催：テレフレックスメディカルジャパン株式会社

座長：梅澤 聡(武蔵野赤十字病院)

寺内 文敏(東京医科大学)

[Minimally invasive surgery を再考する 第1部]

SS4-1 LACC Trial 後の、早期子宮頸癌に対する手術を再考する

田中 尚武(千葉県がんセンター 婦人科)

SS4-2 腹腔鏡下広汎子宮全摘出術は今後継続して行うべき術式なのか

林 茂徳(慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室)

13:50～14:50 **特別講演4**

共催：科研製薬株式会社

座長：上浦 祥司(大阪国際がんセンター)

[Minimally invasive surgery を再考する 第2部]

SL4-1 What happened after the LACC trial results in Korea

Kim Dae Yeon (Asan Medical Center, University of Ulsan college)

SL4-2 Must surgery for cervical cancer be open rather than minimally invasive?

Yoichi Aoki (Cancer Institute Hospital)

14:55～ **閉会の挨拶** 当番世話人：竹島 信宏(がん研究会有明病院)

15:00～17:00 **ポストコンGRESセミナー**

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長：竹島 信宏(がん研究会有明病院)

[がん研アカデミー *EXTRA* マルチアングルから見た骨盤手術解剖]

PS-1 鏡視下骨盤手術の解剖と展開のコツ：直腸外科の立場から

小西 毅(がん研究会有明病院 大腸外科)

PS-2 婦人科の先生にみてもらいたい女性膀胱全摘

駒井 好信(がん研有明病院 泌尿器科)

PS-3 婦人科がん手術に必要な骨盤解剖

金尾 祐之(がん研有明病院 婦人科)

A series of 30 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

特別講演

SL-1

Paradigm Shift in Ovarian Cancer Treatment

Prof. Dr. med. Jacobus Pfisterer

Gynecologic Oncology Center, Kiel

Over the past decades, a great deal of effort has been made to maximize the therapeutic effects of advanced ovarian cancer treatment by combining surgery, chemotherapy, and molecular targeted agents. The Arbeitsgemeinschaft Gynäkologische Onkologie (AGO), world's leading clinical study group, has been generating various clinical evidence extremely beneficial to patients.

Their recent progress, the LION trial has revealed no survival benefits with systemic lymphadenectomy in patients with advanced ovarian cancer, and the DESKTOP III trial showed a clinically meaningful impact on PFS with secondary debulking surgery in platinum-sensitive recurrent ovarian cancer patients with ECOG-PS 0, ascites ≤ 500 ml, and complete resection at initial surgery.

As for systemic treatment by chemotherapy and molecular targeted agents, AGO-OVAR 9 trial showed superiority of gemcitabine + CBDCA combination (GC) compared to CBDCA mono therapy, while AGO-OVAR 2.21, which recently presented at ESMO and SGO showed superiority of GC + bevacizumab compared to PLDG + bevacizumab.

In this seminar, both current treatment strategy based on reported findings and future strategy expected from ongoing trials will be presented focusing on bevacizumab.

共催・協賛一覧

共催企業

アストラゼネカ株式会社
株式会社 EP 総合
MSD 株式会社
科研製薬株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
大鵬薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
テルモ株式会社
テレフレックスメディカルジャパン株式会社
日本化薬株式会社

協賛企業

小野薬品工業株式会社
オリンパス株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
協和キリン株式会社
コビディエン
第一三共株式会社
株式会社ツムラ
持田製薬株式会社
株式会社ヤクルト本社

第16回日本婦人科がん会議
プログラム・抄録集

当番世話人：竹島 信宏

事務局：がん研究会有明病院
〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
TEL：03-3520-0111 FAX：03-3570-0343
E-mail：yoichi.aoki@jfc.or.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

第16回日本婦人科がん会議事務局

がん研究会有明病院

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
TEL 03-3520-0111 FAX 03-3570-0343
E-mail: yoichi.aoki@jfc.or.jp